

No. **79**

2017.12.30発行



ちよぞん娘

# ガウリン

**町の未来を託す**

2▶3

(子ども議会)

不用額が多い(決算認定)

4

まちの声キャッチボール

6

町の課題に切り込む

8▶15

一般質問

新鮮力! **協力隊が走る**

16

# 子ども議会

10/19

将来を担う子供たちに、議会を体験して役割や仕組みを知ってもらい、町政の関心を高めるために昨年からはじめた。

## 横瀬小学校

### 坂東 咲 議員

- 横瀬校区に大きな公園を。
- 勝浦町の自然を生かした木のぬくもりが感じられる遊具の設置を。

### 上野 葉月 議員

- 自転車で勝浦町の名所めぐりを。
- 風景や美味しいものを楽しめるイベントを企画しては。



平岡 誠 弥 議長

### 町長の答弁

新たな公園設備は困難であり、農村公園など活用してほしい。  
サイクリングイベントは起伏に富んだコースがあり、関係者と協議したい。

## 生比奈小学校

### 山本さくら 議員

- 料理コンテストで、町の特産のミカンを生かしたイベントを開いては。
- ちょぞっ娘に妹を。
- ミカン募金で助け合いを。

### 尾花 雫月 議員

- お遍路さんの疲れをいやす足湯を作って安全に巡礼できるようにしては。
- お接待の日を決めては。



宮本 夕愛 議長

### 町長の答弁

料理コンテストはミカンのPRにつながり、消費拡大にもなるので開催に向け協議したい。  
足湯は暖かいお接待になる。

# 特集

# 町の未来を託す!

## 勝浦中学校

### 山本 悠貴 議員

- 世界遺産登録をめざしている「四国霊場と遍路道」とタイアップして、みんなが集まれる鶴林寺公園を建設しては。
- 中央には鶴のオブジェを設置し、町のシンボルとして有名にしては。

### 小 関 摩 耶 議員

- 町の財政は大丈夫か。
- 介護や福祉の課題、少子化対策は。
- 人口減少で小学校が統合してしまうのではないかと心配だ。

### 大久保音夢 議長

### 町長の答弁

鶴林寺などは世界遺産登録に向け取り組んでいる。鶴のオブジェはシンボルとして認知度アップに有効。

町財政は借金より貯金が一人当たり451,000円あり健全である。  
現在のところ小学校は複式学級にならず、統合は考えていない。

### 子ども議員の感想

自分の意見をはっきり言えて良かった。楽しい笑顔あふれる町にして欲しい。

### 年頭のあいさつ

## 地域力の向上を

議長 節 公 一

明けましておめでとうございます。

地域力を高める条件として、人材、資源、情報が大切ですが、わが町にはやる気のある人がたくさんおり、豊かな自然にも恵まれています。

町の特徴を「物語り」として情報発信することが大事ですが、議会も全力で走っていきます。



# 不用額が多い!

平成28年度 決算認定(歳出)

一般会計		38億6124万円	
特別会計			
国民健康保険	7億4933万円	後期高齢者	8531万円
介護保険	8億4647万円	農業集落排水	3170万円
勝浦病院	6億2121万円	物産販売	974万円
簡易水道	3億3712万円	住宅新築資金貸付	26万円

※不用額とは…予算計上されたが使われなかった金額

## 決算認定質疑

### 国清議員

**問** 不用額が非常に多い。予算組みの段階でしっかりと精査できていないのでは。また、予算の誤りを予備費で流用しているが、問題では。

**答** 山田企画総務課長

予算査定は担当者、企画総務課長、副町長とチェックし、政策的な部分を含めて町長が最終決定している。

**答** 藪下副町長 突発的な事があり予備費を流用した。法令上は問題ないと認識している。

### 大西議員

**問** 28年度に整備した宅地、4区画中2区画が売れ残っている。

また、賃貸住宅への建設費助成事業が執行されていない。今後の取り組みは。

**答** 柳澤建設課長 宅地への問い合わせはあるが販売に至っていない。今後は不動産業者に依頼し完売に努める。



2区画売れ残っている宅地(横瀬地区)

**答** 石木地方創生推進室長 賃貸住宅について、立地条件の難しさと周知不足が原因と考える。今後、分析を行い実績を上げていきたい。

## 特に留意すべき事項

- 各課ともに不用額が多い。適正な予算編成と事業執行を。
- 時間外勤務の削減を。
- 男女共同参画事業は、研修内容の充実を。
- 農業振興補助事業は、JA受付分の申請方法の改善を。
- 賦課業務のチェック体制の強化と職員研修によるスキルアップを図り、事故再発防止に努められたい。
- 宅地造成事業の経費、販売方法を再検討する必要がある。候補地選定も含め改善されたい。
- 国の政策によるシステム改修費の町費負担は、他市町村と比較し適正かどうか判断されたい。
- 病院改築に向けて、医師確保に町長自らが具体的な行動を起こすべき。

# 11月会議

台湾から2千人  
インバウンドに

## 530万円補正

11月みかん会議では、一般会計補正予算、公の施設の指定管理、特別職の給与をカット（教育長20%）する条例改正、勝浦病院の物品購入契約（医療用電子内視鏡）などが提案され、議決された。

また、「核兵器禁止条約の調印、批准へ向けた



新しく購入された内視鏡

意見書」と「道路財特法の補助率等の嵩上げ措置継続を求める意見書」が提案され議決された。

意見書で討論

「核兵器禁止条約の調印、批准に向けた意見書」に

反対討論

松田議員

賛成討論

麻植議員、  
美馬議員、  
井出議員

討論の結果

賛成5、反対3で議決した。



寄港予定のマジェスティックプリンセス号

### ◎主な補正予算

- ・林道施設災害 2100万円
- ・町単道路改良 1130万円
- ・インバウンド関連 530万円
- ・空き家改修補助金 188万円

※インバウンドとは  
外国人が訪れてくる旅  
行のこと

議案に対する質疑

松田議員

問 移住支援空き家改修補助金の申し出は何件あったのか。

答 海川産業交流課長

28年度は2件で、29年は3件の見込みである。

国清議員

問 公の施設の指定管理の公募で競合はなかったのか。

答 山田企画総務課長

公募は7施設だが、競合はなかった。

# 12月会議

企業立地

促進に向け

条例を制定

12月会議では、企業の立地促進を図り、町民の雇用機会の拡大と経済の発展をめざすための条例が提案され、審議の結果、制定された。

優遇措置として、固定資産税の免除や従業員1人につき年額50万円などが交付される。

また、タクシー券利用者増による95万円の補正予算と条例改正などが議決された。

危険な状況にあり、再三要望しているが、いまだ改善されない。どうなっているのか。

答 中瀬住民課長

8月の「交通安全対策会議」に議題に出て協議され、小松島警察署に現場を見てもらったが、現在は規制から外れている。

問 今後、どうすれば復元できるのか。

答 中瀬住民課長

町としても危険な状況を認識しており、関係機関に要望したい。

町民の声

国清議員

消えた

横断歩道

問 星谷地区中央の交差点の「横断歩道」が消えて数年が経過している。児童・生徒の通学路で、



危ない交差点

12月15日、活性化センター「レヴィタ」において、町外から移住されて来た若者8人と、新たな視点で町の課題について意見交換を行った。

○移住のきっかけは。

**山守さん** 大地震による津波の心配がないから。

**樋口さん** みかんが採れる暖かいところに住みたいと思った。

**岡さん** 地域おこし協力隊として、海外でのボランティア経験を生かしたかった。

借りられる

農地がない

○町に足りないものは。

**八木さん** 耕作放棄地は多いが、いざ借りたいと申し込んでも借りられる農地がない。

**樋口さん** 空き家を有効活用できる体制が不十分。

**木島さん** 日曜日にはほとんど人通りがない。多様な商店がないので町外で買い物する。



多くの提言が

○町の課題は。

**大友さん** イベントは多くあるが企画、実行、宣伝する人材育成が必要。

**渡辺さん** 行政頼みではなく、自立する気概を育んでいくべき。

**八木さん** 若い人と農業者がつながる場が少ない。

6次産業化を進めるにも加工場がない。ビジョンを明確にした取り組みが必要。

## 行政視察報告

視察日：9月24日～26日

視察先	テーマ	視察内容
広島県 大崎上島町	移住・定住 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり協力隊3名を移住・定住アドバイザーとして採用し効果を上げている。</li> <li>用地造成（干潟の埋め立て）を行い、全寮制の中高一貫校誘致に成功している。</li> <li>移住者用お試し住宅は3タイプ用意し、効果を上げている。</li> </ul>
鳥取県 鳥日南町	議会改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員若返りのため、報酬審議会に増額（3.6万円）を打診し、同時に町民との協議を重ねている。</li> <li>一般質問の通告に対して、執行部より事前に答弁書を提出させている。</li> <li>議会日程・議案は議員と同時に町民にも同じ情報を配信している。</li> </ul>
岡山県 和気町	教育による 町づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の大学から協力を得て、英検指導に特化した公営塾を運営している。</li> <li>英語特区を導入し、次期学習指導要領に対応している。</li> <li>6名のALT（外国語指導助手）を採用し、効果を上げている。</li> </ul>



移住者用お試し住宅（大崎上島町）



英語公営塾（和気町）

# 一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

質問議員	質問事項	ページ
美馬友子	1、宿直業務、委託で負担軽減を 2、新規採用に地元枠を 3、福祉総合窓口の設置を	8
仙才 守	1、教育による町づくり、取り組みの姿勢は 2、小学校の英語教育への取り組み 3、校務支援システムの導入は 4、光ケーブル、利用状況調査は 5、料金見直しは 6、地籍調査の実施時期	9
松下一一	1、町長四選への思いと今後の取り組みは 2、企業誘致の進捗は 3、高齢化社会を見据えて 4、どうなっている、沼江バイパス	10
井出美智子	1、免許返納者、シニアカー購入に補助を 2、就学援助費の拡充と入学準備金の前渡しを 3、農業支援の地域おこし協力隊員の定着を	11
森本 守	1、増えている行方不明者、 行き先知らせる習慣づけを 2、職員提案制度の活用を 3、防災無線の音量 4、職員の採用について	12
麻植秀樹	1、万全な備えを、地域別の詳細な防災マップを 2、病院改築、町財政に影響はないか 3、病院給食外部委託、町内での雇用確保を	13
松田貴志	1、消防団体制、団員の待遇改善を 2、情報発信、一斉メールの活用を 3、総定数と各分団の定数変更を 4、町長の政治姿勢	14
国清一治	1、行政ミス相次ぐ、町長の対応は 2、救急救命業務、出動時に危険 3、選挙違反、買収や寄付行為	15

会議予定日 **傍聴に来てよー!**

**1月16日、2月15日、3月6日~9日、20日~23日**

# 町の課題に切り込む!

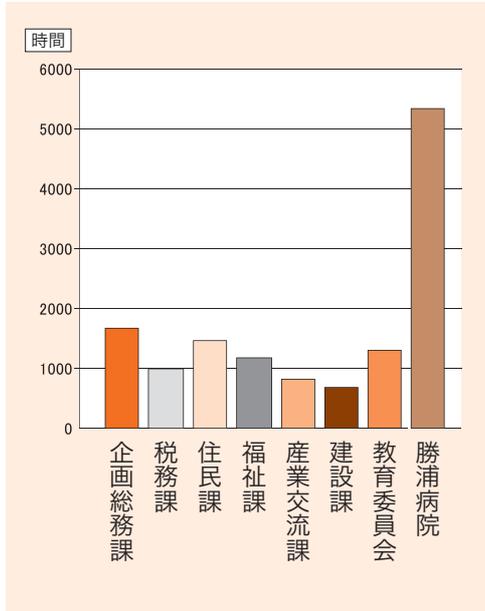
# 宿直業務

## 委託で負担軽減を

健康面からも考えていきたい (町長)



美馬友子 議員



28年度時間外勤務時間

**問** 「役場職員の健康は大丈夫なのか」と住民の心配の声が聞こえるようになった。職員の負担軽減策に宿直業務を委託できないか。

**答** 山田企画総務課長 常備消防がないために防災対応を、宿直者が担っている。また、委託すると経費増が課題である。

**答** 中田町長 宿直の回数も多くなっている。健康面からも心配している。住民サービスが低下しないよう考えていきたい。

## 新規採用に 地元枠を

**問** 町内の職員が減っている。地元枠で募集し採用してはどうか。

**答** 山田企画総務課長 絞り込むことは難しい。町にとつて有益な人材を求めたい。

**答** 中田町長 採用が3人程度と少なくなっている現状であり、今後の大きな課題である。  
**問** 新規採用者に求めていることは何かをPRすべき。

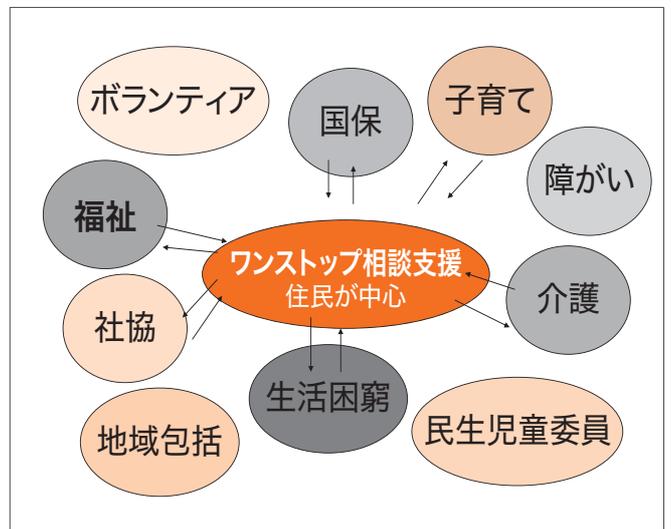
**答** 山田企画総務課長 今後、町を担える人材を期待している。次期募集等に反映できるように改善策を図りたい。

**問** 業務拡大や新規事業により時間外が増えている。また、有休取得率が減少しているが、職員数も増えていない。増員しては。

**答** 山田企画総務課長 時間外の増、有休取得の少なさからみても、業務量に職員がついていない。職員を増やすか、事業の選択集中などが必要である。

**問** 体調を崩して休んでいる職員もいるが、メンタルヘルス対策及び相談窓口の設置はできているのか。

**答** 山田企画総務課長 市町村共済組合で、24時間電話の無料相談窓口があり、役場では月に1



1カ所で相談支援体制を

回診療心理士による相談窓口が開設されている。復帰支援について職場内で研修している。

## 福祉総合窓口 の設置を

**問** 福祉の相談窓口を一つに集約し、ワンストップ化でサービスの総合調整ができる体制整備を実現すべきでは。

**答** 敷下副町長 町では、介護サービス

などは社会福祉法人に、生活困窮者の相談は社会福祉協議会に委託している。それ以外の対応は福祉課で行っている。ワンストップサービスは住民利便性において非常に効果はあるが、現状の整備については課題が多い。

■その他の質問  
○教育委員会の郡内統合を

○タブレット導入を



仙才 守 議員

## 教育による町づくり

### 取り組みの姿勢は

「文教の町かつうら」をめざしたい（町長）

**問** 岡山県和気町では「教育によるまちづくり」を実践している。本町の教育への取り組み姿勢は。

**答** 中田町長

「子育ての町」「安心・安全な町」をめざし、四国ではじめて「18歳までの医療費無料化」などの施策を講じてきた。3市に隣接した有利な立地を移住・定住促進に生かすため、教育環境を整備し、「文教の町かつうら」をめざしたい。

### 小学校の英語教育への取り組み

**問** 他の自治体に比べて対応が遅れているのではないか。

**答** 椎野教育長

32年度から小学校で英語が教科化されるので、来年度からの先行実施に向けて準備している。

### 校務支援システムの導入は

**問** 今年度予算で計画されているが、作業が遅れているのではないか。

**答** 椎野教育長

来年の夏休みから運用できるように準備していた



英語指導助手による授業

が、県教委が全県統一システムを計画していることが判明した。統一にはいろいろなメリットがあるため、このまま本町単独で進めるのか、統一システムに乗り換えるのか、検討している。

### 光ケーブル利用状況調査は

**問** アンケートはいつ、どのように実施するのか。

**答** 山田企画総務課長

各区長に配布と回収を依頼する。1月初旬の回収を予定している。

### 料金見直しは

**問** 町長から「住民がそれぞれサービスを選択できることが望ましい。実態に応じたサービス内容にする。」との答弁を得ている。料金見直しが可能な時期は。

**答** 山田企画総務課長

最短で31年度から新契約でのサービス提供が可能である。ただし、上勝町や契約業者との協議が前提となる。

### 地籍調査の実施時期

**問** 8月末から10月末で調査しているが、草の繁茂、高温、降雨やマムシ等に苦勞している。調査時期を春先に変更できないか。

**答** 柳沢建設課長

年度計画で実施している。春先に変更すると予算の繰り越しが発生するため難しい。

### その他の質問

○簡易水道関連



松下一一 議員

# 町長4選への思いと 今後の取り組みは 総合戦略をやり切りたい (町長)

**問** 3期12年の自己評価と、4選出馬表明に至った思いは。

**答** 中田町長

18年に実質公債費比率が県下ワーストワンの23・4%、地方債残高44億円という財政状況でスタートした。

まず行財政改革に取り組み、地方債残高は37億円に減少、基金は10億円から34億円に増加した。その結果、実質公債費比率は5・8%と県下トップクラスまで改善され、積極的な事業展開が可能になった。

四国で初めての18歳まで医療費無料化や道の駅「ひなの里かつうら」開業、中学校改築、沼江バイパス着工、民間の救急救命士導入などに取り組んできた。

今後は「かつうら創生総合戦略」の中で病院改築事業、棚野、星谷地区の県道改良事業、小中学校の給食費の助成、農業振興策、移住・定住の促

進などに全力で取り組みたい。

## 企業誘致の 進捗は

**問** 企業誘致の話が出て  
いるが、その進捗状況は。

**答** 中田町長

船井電機跡地へ辻本製作所の誘致が内定している。

## 高齢化社会を 見据えて

**問** 運転免許自主返納者が増えている。買い物等の移動手段確保のため、タクシー券の増額はできないか。

**答** 岡本福祉課長

財政的に、タクシー券増額は課題である。

今後、買い物バス利用者のニーズ調査をする。

**問** インフルエンザ予防接種の無料化と、対象年齢の引き下げはできないか。

**答** 岡本福祉課長

高齢者人口が増えており、人的、財政的に非常に厳しい。

**問** 現在、特養入所待機者数とその対応は。

**答** 岡本福祉課長

100人くらいの待機者がいるが、緊急性を評価し順番を決定している。待機者には、在宅での生活を支援している。

## どうなっている

## 沼江バイパス

**問** 沼江バイパスと土捨て場の進捗状況は。また、跡地利用の計画は。

**答** 柳沢建設課長

沼江バイパスについては、用地関係者の85%と契約完了。土捨て場は東の谷地形の部分と交渉が前向きに進んでいる。跡地については、防災の拠点として活用が期待されている。

## その他の質問

- 公平な固定資産税に
- 町営住宅の管理



企業誘致が内定 (横瀬地区)

## 免許返納者

### シニアカー購入に補助を

#### 補助は研究する（町長）

**問** 高齢者の交通事故が増えている。事故を起す前に、安心して返納できる仕組み作りが必要だ。最近の事故件数と免許返納数は。

**答** 岡本福祉課長  
29年度は10月までで、事故は16件、負傷者22名。そのうち高齢者9件、負傷者7名である。返納数は27年4名、28年5名、29年20名となっている。

**問** 眼科等、町外への通院に町営バスを運行したらどうか。

**答** 山田企画総務課長  
徳バスと競合する路線は難しい。

**問** 徳バスの利用券を發行し、タクシー券と選択できるようにしたらどうか。

**答** 岡本福祉課長  
免許返納者はバス代が

半額になるので、回数券を利用すれば、より効果があると思われる。

**問** 非課税世帯にシニアカー購入補助をしたらどうか。

**答** 中田町長  
高齢者の安全が第一なので、他の自治体の動向を調べて研究する。



井出美智子 議員

**問** 徳バスの利用券を發行し、タクシー券と選択できるようにしたらどうか。

**答** 岡本福祉課長  
免許返納者はバス代が



シニアカーの購入に補助を

### 就学援助費の 拡充と入学準備 金の前渡しを

**問** 神山町、佐那河内村では、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費も支給されている。勝浦町も支給したらどうか。

**答** 椎野教育長  
クラブ活動費は、学校全体に補助している。

**問** 新入学時には、制服等、多額の経費が必要だ。6月支給の入学準備金を前渡し支給しては。

**答** 椎野教育長  
前々年度の所得で、判定しなければならぬため、事務が煩雑になり難しい。

**問** 就学援助制度を知らない町民に対し、ネット検索をすれば簡単に情報が得られるよう、ホームページ等を改良するべきだ。

**答** 中田町長  
情報発信したい。

### 農業支援の 地域おこし協力 隊員の定着を

**問** 全国的には、農業支援の協力隊員の定着率が悪い。大事な人材を大切に、勝浦にしっかりと根を張り農業を担えるよう、支援強化を。

**答** 海川産業交流課長  
北海道の新冠町では、配偶者、扶養手当を支給しているなど参考に、定住に向けて応援したい。

## 増えている行方不明者

### 行き先知らせる習慣づけを

老人会や町広報で周知する (福祉課長)



森本 守 議員

“〇〇へ行ってきます”の一言が  
あなたを守るかも知れません。

- 山の中で車が故障して帰れない。
- 畑でケガをして動けない。
- 道に迷って帰れなくなった。

こんな時にあなたを探すために役立ちます。

**出かける時は、誰かに行き先を伝えましょう。**

勝浦町福祉課高齢者福祉係・勝浦町企画総務課消防係

あなたを守るチラシ

**問** 行方不明者が増えているが状況は。

**答** 山田企画総務課長  
4月から先日11月初期までに3件発生しており、高齢者が多いと認識している。

**問** 県道に監視カメラを設置できないか、県に要請しては。

**答** 山田企画総務課長  
警察に相談したところ、国道に付けているのは防犯上であり、監視用ではない。県道への設置は難しいとの回答であった。

**問** 携帯電話や位置情報システム利用機器は、費用面や操作で難しい。家族や知人に行き先を知らせる習慣を周知徹底すれば。

**答** 岡本福祉課長  
家族や知人に行き先を知らせることを習慣とすることは非常に大事なことで、老人会や町広報での周知に取り組んでいく。

### 職員提案制度の活用を

**問** 職員の提案について2年前にも質問したが、

その後提案はあったのか。

**答** 山田企画総務課長  
26年、27年、28年度各一件程度であるが、残念ながら採用はされていない。

27年には地方創生総合戦略の関係で、若手職員から提案・意見があった。

### 防災無線の音量

**問** 町内各所から「やかましい」と苦情が届いている。今は各戸に戸別受信機を備え付けているので、そんなに音量を上げなくてもよいのではないか。

**答** 山田企画総務課長  
戸別受信機には録音機能がついており、利用を周知徹底しながら放送回数の減、簡潔な内容にして、その地域の住民の理解が得られるのであれば、音量調整も必要と考える。

### 職員の採用について

**問** 町内外の職員割合と、一番遠い職員はどこから通勤しているのか。

**答** 山田企画総務課長  
町内在住の職員は58%で、北島町からの通勤が一番遠い。

**問** 勝浦町に住所を移動するよう指導すべきではないか。

**答** 中田町長  
災害対応上問題もあり、町内に住むようお願いしている。

### その他の質問

○ 通字費の助成について



麻植秀樹 議員

## 万全な備えを

# 地域別の詳細な防災マップを

## 情報収集し作成する（企画総務課長）



改修要望の金比羅堤防（中角地区）

**問** 以前、作成すると答弁していた地域別の詳細な防災マップはどうなっているのか。

**答** 山田企画総務課長 各地区の自主防災隊が避難経路ついでの情報を持っているので、協力をお願いしている。これらの情報がそろい次第、新しい防災マップを作成したい。

**問** 勝浦川の堤防改修を県に対して要望すると話していたが、その後どうなったのか。

**答** 中田町長 金比羅堤防付近の片掘れによる危険性について、引き続き県に要望している。

**問** 台風接近による悪天候の中、衆議院総選挙の

開票作業が行われたが、問題はなかったのか。

**答** 中瀬住民課長 一時的に停電が発生した。今後は、自家発電機による電源確保等の対策をしたい。

### 病院改築

## 町財政に影響はないか

**問** 病院改築の工費が25億円以上になるが、町財政は心配ないか。

**答** 石木地方創生推進室長 工費として病院の自己資金4億3000万円、病院事業債を含む起債が7億5100万円と改築基金を5億円積み立てる予定である。  
町財政の試算、病院の経営計画を勘案すると、現在のところ町財政に与える影響は限定的と考える。



現在の調理室

### 病院給食外部委託

## 町内での雇用確保を

**問** 来年4月から病院給食が外部委託される予定だが、町内で雇用の確保はできるのか。

**答** 笠木病院事務局長 できるだけ、町内の人を雇用してもらえようように企業にお願いする。

**答** 山田企画総務課長 今後、事業の集中と選択により、綿密な財政計画を立てていく必要がある。

**問** 23億円ある財政調整基金が11億円に半減するとの見通しだが、身の丈に合った病院にすべきでは。

**答** 中田町長 厳しい財政状況ではあるが、身の丈に合った病院建設を推進したい。

## 消防団体制

### 団員の待遇改善を

手当支給を検討したい（企画総務課長）



松田貴志 議員



出動日数も増えている（星谷運動公園）

## 一般質問

**問** 今年度は、特に消防団員の出動回数が増えている。異常気象による災害発生も想定され、団員への負担は増すばかりである。

**答** 山田企画総務課長 団長や地方創生戦略会議の委員からも、出動手当や報酬見直しの意見があった。水防や土砂災害等への出動手当の支給ができないか検討する。

## 情報発信 一斉メールの活用を

**問** 火災時などに防災無線等で情報発信をしているが、確実に各分団員に情報を届けるために、一斉メール等の活用はできないか。

員と各分団の定数変更をすべきではないか。

**答** 山田企画総務課長 防災力確保の観点から定数は維持したい。また、各分団や区長等と協議する中で、定数の割り振りについては考えていきたい。

## 町長の政治姿勢

**問** 常備消防への取り組みは。

**答** 中田町長 27年9月に小松島市と協議をしたが断られ、交渉が中断している。単独での常備消防設置は財政的に難しいので、近隣市との広域連携ができないか協議を進めたい。

## 総定数と各分団の定数変更を

**問** 消防団の定数は240人で、それぞれの分団の定数は条例制定時に割り振られている。しかし、人口減少や出動状況等にも変化が見られ、現状に合わせた総定

**答** 中田町長 28年度事業として横瀬地区に宅地を造成したが、4区画中2区画が売れ残っている。横瀬地区での販売は難しいので、29年度予算については旧生比奈地区で整備したい。

## 行政ミス相次ぐ

### 町長の対応は

信頼回復と再発防に努めたい (町長)

**問** 固定資産税の課税も  
れや、通学バスの問題な  
どが続ぎ、徳島新聞に「行  
政ミス相次ぐ、連携不足」  
と大きく報道された。町  
長はどう受け止め、どう  
対応するのか。

国清一治 議員

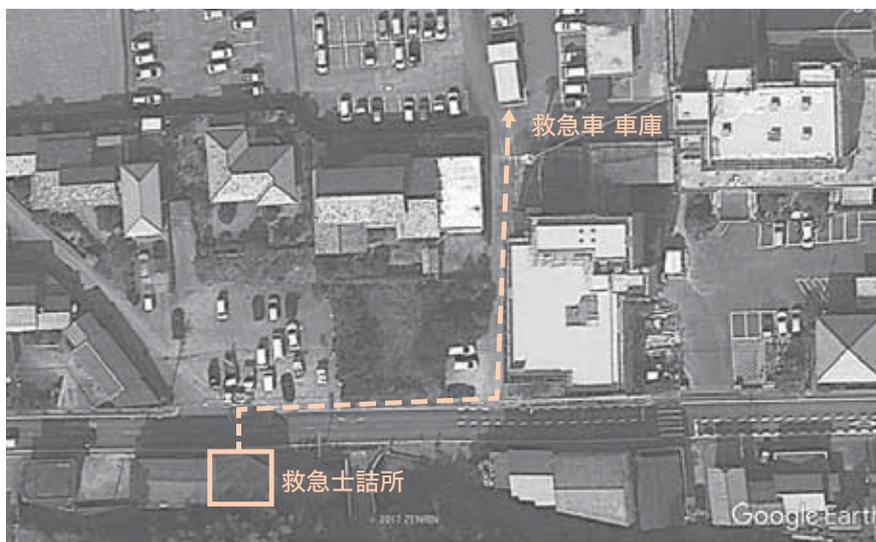


**答** 中田町長

あつてはならない固定  
資産税の課税誤りや課税  
もれなど重大な事案が発  
覚、対応が遅れ問題が深  
刻化し、町民に大変な迷  
惑をかけた。  
また、新聞報道により  
町内外に知れ渡り、各方  
面に信頼関係など大きな  
影響がでた。  
今後、信頼回復と再発  
防止に努めたい。

### 救急救命業務 出動時に危険

**問** 救急車と救急救命士  
の詰め所が県道を挟み離  
れている。  
出動時に危険な状況で



救命士詰め所から救急車車庫へ (約100m)

出動時に危険な状況で

あり、電話も直接つなが  
らないなど、遅れがでて  
いる。早期に改善すべき  
では。

**答** 石木地方創生推進室長  
現在の詰め所は安全面  
や衛生面で問題があり、  
現在、近隣の建物を借  
りる協議を進めている。

害誘導、戸別訪問、事前  
運動」などが禁止されて  
いる。  
「連座制」とは、候補  
者と関係が深い人が買収  
罪などで違反に処された  
場合、選挙の当選が無効  
となる。  
啓発活動については勝  
浦広報12月、1月号に掲  
載したい。

### 選挙違反

### 買収や寄付行為

**問** 選挙の洗礼を受ける  
立場として、日ごろの政  
治活動のなかで、何が違  
反なのかを知る必要があ  
る。公職選挙法では何が  
違反行為なのか。

また、「連座制」とはど  
のような行為を言うのか。  
選挙管理委員会におい  
ては、今後どう啓発して  
いくのか。

**答** 中瀬住民課長

法律では、候補者の平  
等の確保を図るため「買  
収、寄付、選挙妨害、利

# 新鮮力! 協力隊が走る

シリーズ②

前回から「地域おこし協力隊」の活躍を、シリーズで紹介しています。今回は!

木島大輔さん



## ★まずは自己紹介

東京は府中市の生まれ、東京では飲食店の店舗マネージャーとして、店舗運営の仕事をしておりました。

趣味は、旅行やコーヒー屋などの店巡りです。

## ★なんでこの町へ

「全く別のことをしてみたいな～」と転職を考えていたとき、地域おこし協力隊として「道の駅」の業務に興味をもち、応募しました。



## ★どんなことしょんで

始めは「道の駅ひなの里かつうら」で勤務をしていましたが、2年後からは役場の産業交流課において、特産品の振興に携わっていました。

現在は独立し、横瀬地区でコーヒー屋「勝浦流イタリアンカフェ Salotto」を経営しています。



## ★ゆめは大きく

現在経営しているコーヒー屋が、イタリアの街中にあるコーヒー屋（バル）のように、たくさんの人々が集い、生活の一部になること。

日常的に朝はカプチーノ。食後や午後はエスプレッソをカウンターで立ち飲みする文化を創りたい。

## 「地域おこし協力隊」とは

人口減少の著しい地方において、地域の維持・強化を図るため、都市から人材を確保し、さらに定住へとつなげる制度で、期間は3年間です。

平成21年4月から国の支援を受け始まり、勝浦町では22年から受け入れています。

## 活発な政策論争を

今年も後わずかとなり、一年が短く感じる年代になりました。

災害や事件、事故で被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。私は大過なく普通に日々を過ごせ、新しい年を迎えられることに感謝の気持ちでいっぱいです。

10月の衆議院選挙では、安倍自民党が的確な判断のもと、不利をチャンスに変え大勝しました。

アメリカではトランプ大統領が誕生し、政権交代を果たしましたが、日本では政権交代を許すことなく、この結果が国益につながることに期待します。

新年早々、勝浦町において町長選挙が実施されます。活発な政策論争のもと、公平、公正な選挙が行われることを望みます。

(松下)



## 表紙写真

山西イルミネーション

(西岡地区)

## 編集後記

